

新藤通弘先生と訪ねる キューバ社会の学習・視察の旅 8日間

半世紀ぶりに、米国との国交を回復したキューバの現状をつぶさに見て、学ぶ

キューバは1959年の革命勝利後社会改革を進め、米国の厳しい干渉を受けながらも自主的な立場を守り独立を維持してきました。一方2008年から経済制度を構造的に変える経済改革に取り組んでおり、その変化が経済・社会のいろいろな箇所に現れてはじめています。そして昨年、米国との歴史的に国交を回復しました。

こうした劇的な動きの中で、キューバの政治、経済、社会はどう変わっていくのか、予断を許さない興味が尽きない時期です。キューバの現在を、キューバの各分野の第1級の専門家の方々にじっくりと、しかも同時通訳付きで聞こうという、他社の企画には見られない、贅沢なスタディツアーです。しかも、その中にも観光地の訪問も組み込まれており、日本におけるキューバ研究第一人者の新藤通弘先生が同行し、解説・通訳をして、学習に観光に皆様の様々



実施時期:2016年3月24日～3月31日

申込締切: 2月20日

定員:20名様(最低実施15名様)

添乗員:同行します

旅行費用:448,000円 空港諸税・燃油サーチャージは含まず

日次	月 日	曜日	都 市	現 地 時 刻	交通機関	摘 要	〈宿泊地〉	食事
①	3月24日	木	羽田空港集合 羽田空港発 トロント着 トロント発 ハバナ着	夕刻 午後 夕刻 夜	航 空 機 航 空 機 専 用 車	空路、直行便でカナダのトロントへ。 空路を乗り継ぎ、キューバの首都ハバナへ。 ホテルにチェック・イン	<ハバナ泊>	X 機 X
②	3月25日	金	ハ バ ナ		専 用 車	終日:ハバナ旧市街と周辺の見学 革命広場、モロ要塞、アルマス広場、革命博物館、カピトリオ 昼食はタベルナ・ベニモレ キューバ第一画家ネルソン・ドミンゲス画廊訪問、	<ハバナ泊>	B L D
③	3月26日	土	ハ バ ナ		専 用 車	キューバの経済についての視察訪問・懇談 キューバ経済研究所(CEEC)訪問、オマール・エベルレニ・ハバナ 大学教授をはじめとする経済、農業、金融等の第一人者 (4名)の講演 夕食はボデギータ・デル・メディア	<ハバナ泊>	B L D
④	3月27日	日	ハ バ ナ		専 用 車	キューバの医療現場訪問と医療システム視察 ラテンアメリカ医学校訪問、医療問題の第一人者ルイサ・イニー ゲス教授同行、同教授を囲んで昼食、懇談 世界経済研究所(CIEM)訪問、前経済大臣ホセ・ルイス・ロドリゲス 教授講演「キューバ経済の現在と今後の展望」	<ハバナ泊>	B L D
⑤	3月28日	月	ハ バ ナ		専 用 車	キューバの政治、外交についての学習・懇談 米国研究所(CESEU)訪問、ルイス・レネ副所長講演「米国・キュー バ関係の現状と課題」 ヘミングウェイゆかりの地へ ヘミングウェイ博物館	バラデロ泊	B L D
⑥	3月29日	水	ハ バ ナ		専 用 車	キューバ屈指のリゾート地、バラデロビーチを満喫 午前自由行動、午後、再びハバナへ ハバナにて、民芸品市場訪問 夕食は民間レストランMorale jasにて	<ハバナ泊>	B L D
⑦	3月30日	月	ハ バ ナ 発 トロント着 トロント発	朝 昼 午後	航 空 機 航 空 機	朝:空路、再び乗り継ぎ地のトロントへ 午後:空路、エア・カナダで帰国の途へ	<機中泊>	B X 機
⑧	3月31日	火	羽田空港着	午後		午後:羽田空港到着、解散		機

B=朝食付 L=昼食付 D=夕食付 機=機内食

旅行企画・実施 観光庁長官登録旅行業第84号 JATA正会員

株式会社 富士国際旅行社

〒160-0022東京都新宿区新宿2-11-7宮庭ビル4階
TEL:03-3357-3377 FAX:03-3357-3317

申込先: 電話03-3357-3377 FAX 03-3357-3317 担当: 小野寺/山口
onodera@fits-tyo.com